

技術・家庭科 《第1学年技術分野》年間指導計画

技術・家庭科 教科の目標

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

技術分野の目標

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術の関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成することを目指す。

(例：**知**は、「知識・技能」、**思**は、「思考・判断・表現」、**態**は「主体的に取り組む態度」)

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準〈評価材料〉
4 5	ガイダンス <5時間> 生活や社会における技術の役割 (p12-19)	○社会や生活に生かされている技術に関心を持ち、その役割を知る。 ○技術の見方・考え方を 知る。 ○技術が生活や産業に及ぼしている影響に気づく。 ○技術の進歩による新たに発生した問題とその解決のために技術が果たす役割を知る。 ○日本で受け継がれてきた技術に関心を持つ。	①技術の役割 ②技術の見方・考え方 ③技術と生活・産業 ④技術とエネルギー・環境 ⑤受け継がれ発展する技術	態 ・人々の「願い」を実現するための技術を見つけ、その役割を知ろうとしている。 ・技術の見方・考え方について知ろうとしている。 ・技術の向上により生活や産業に及ぼす影響について考えようとしている。 ・環境保全の技術開発と持続可能な社会の実現の必要性を考えようとしている。 ・日本の伝統的な技術が受け継がれ発展し、現代の生活や産業のものづくりに活用されていることについて考えようとしている。
6	A 材料と加工の技術 <7時間> 1-1 生活や社会と材料と加工の技術	○身の回りの製品を観察し、使用されている材料やその加工方法や工夫されていることを調べる。 ○身の回りの問題を発見してSDGsとの関連性を考えさせる	①生活や社会を支える材料と加工の技術 ②身の回りにある材料と加工の技術	知 ・材料の製造方法や形成方法などの基礎的な技術の仕組みについて理解している。 思 ・材料と加工の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。
7	1-2 材料を利用するための技術	○木材や金属などの材料の特性に係る実験・観察を行う。 ○木材の特徴と加工方法を調べる。 ○金属やプラスチックの特徴と加工方法を調べる。 ○身の回りの製品や社会の中にあるじょうぶにするための工夫を調べる。	①さまざまな材料と加工の技術 ②木材の材料と加工の技術 ③金属の材料と加工の技術 ④プラスチックの材料と加工の技術 ⑤構造をじょうぶにする技術 ⑥製図	態 ・進んで材料と加工の技術に関わり、主体的に理解し、技能を身につけようとしている。 知 ・木材や金属などの材料と使用方法について理解している。 ・木材の特徴や加工法の科学的な原理・法則について理解している。
9		○等角図法および第三角法による正投影図		知 ・じょうぶな構造や形状・組み合わせについて科学的な原理・法則について理解している。 知 ・図面を読んだり、書いたりすることができる技能を身に付けている。

10	B 生物育 成の技術 1-1 生活や社会 と生物育成 の技術 1-2 さまざまな 生物育成の 技術	○生物育成の技術が生 活や社会に果たして いる役割について考 える。 ○作物、動物、水産生物 及び森林に関わる 栽・飼育・育成技術に ついて知る。	①生活や社会を支える 生物育成の技術 ②身の回りにある生物 育成の技術	知	・作物、動物及び水産生物の成長、生態などにつ いての科学的な原理・法則について理解している。 ・生物の育成環境を調節する方法などの基礎的な技 術の仕組みについて理解している。
11			①作物の栽培技術 ②動物の飼育技術 ③水産生物の栽培技術 ④森林の育成技術	思	・生物育成の技術に込められた問題解決の工夫につ いて考えている。
12				思	・主体的に生物育成の技術について考え、理解しよ うとしている。
1	D 情報 の技術 1-1 生活や社会 と情報の技 術 1-2 情報とコン ピュータ	○情報の技術に関する 製品やサービスに込め られた工夫や仕組みを 調べる。 ○情報の技術が生活や 社会で果たしている役 割をまとめる。 ○コンピュータシステ ムの構成とソフトウェ アの働きを知る。 ○コンピュータがもつ 主な機能と主な装置の 仕組みを知る。 ○計測・制御システムの 基本的なしくみと各要 素のはたらきを知る。 ○プログラムによる処 理の自動化の方法を知 る。 ○処理の流れや手順を 表す方法を知る。 ○順次・処理・反復のプ ログラムの基本を確認 し、変数や配列及びイベ ントを利用したプログ ラムの制作、動作の確認 及びデバッグを行う。 ○情報のデジタル化の しくみやデジタル情報 と情報の量の関係を知 る。 ○デジタル化された情 報の特徴や情報を圧縮 する目的と基本的な仕 組みを知る。	①生活や社会を支える 情報の技術 ②身の回りにある情報 の技術	思	・情報の技術に込められた問題解決の工夫について 考えている
2			①コンピュータの構成 ②コンピュータの機能 と装置 ③コンピュータを使っ て機器を自動で動かす しくみ ④コンピュータによる 処理のしくみ ⑤プログラムの構造と 表現 ⑥情報のデジタル化 ⑦デジタル情報の特徴	思	・主体的に情報の技術について考え、理解し、技能を 身に付けようとしている。
				知	・情報のシステム化に関わる基礎的な仕組みにつ いて理解している。
				知	・処理の自動化に関わる基礎的な技術の仕組みにつ いて理解している。
				知	・処理の流れや手順を図で適切に表現でき、安全・ 適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ 等ができる技能を身に付けている。
				知	・情報の表現、記録、計算についての科学的な原理・ 法則や情報のデジタル化に関わる基礎的な技術の 仕組みについて理解している。
	1-3 情報の表現 と伝達	○情報の使いやすさや わかりやすさに関する 工夫を知る。 ○情報の表現手段やコ ンテンツの特徴を知る。 ○情報通信ネットワ ークの構成や情報をやり とりするしくみを知る。 ○Webにおける情報 の表現方法を知る。	①使いやすさを工夫し た情報の表現 ②メディアを利用した 情報の表現 ③情報通信ネットワ ークのしくみ ④Webのしくみと情 報の表現	知	・情報の使いやすさやわかりやすさに関する工夫、 メディアの特性を踏まえたデジタル化の方法や情 報を利用するための基本的な仕組みについて理解 している。
			知	・情報通信についての科学的な原理・法則と情報通 信ネットワークの構成に関する基本的な仕組みに ついて理解している。	
			知	・情報ネットワーク上で情報を利用する仕組みにつ いて理解している。	

3	1-4 情報セキュリティと情報モラル	<ul style="list-style-type: none"> ○情報セキュリティの重要性と危険を防ぐための技術を知る。 ○基本的な情報セキュリティ対策をまとめる。 ○情報モラルの必要性和情報を収集・発信するときに注意することを知る。 ○情報社会で人権などの権利を尊重する必要性を考える。 ○知的財産を保護する必要性和利用方法を知る。 ○知的財産の望ましい活用を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ①情報セキュリティ ②情報モラル ③知的財産の保護と活用 	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティに関わる基礎的な仕組みについて理解している。 ・情報モラルの必要性和情報を発信する時の注意点について理解している。 ・知的財産を保護する必要性和利用方法について理解している。 </div>
---	-----------------------	--	--	--